

ホント? SFの中の探査 -2-

サイエンス★ビアガーデン ～SF映画に乾杯～

後藤忠徳(京都大学)・藤吉隆雄(名古屋大学)・山中敦子(蒲郡市生命の海科学館)

連載「ホント? SFの中の探査」がスタートしましたが、偶然にもこの夏、同様のイベントが愛知県蒲郡市で開催されました。

“サイエンストーク・蒲郡まつりスペシャル”

「サイエンス★ビアガーデン ～SF映画に乾杯～」

開催日：2013年7月27日(土) 午後7時～8時

場 所：蒲郡市生命の海科学館(写真1)



写真1 外観も展示内容もモダンな科学館です。

「サイエンティストと科学コミュニケーターと学芸員が、SF映画への愛に満ちた理系? トークを繰り広げます」と銘打ったこの企画、SF同好会のイベントではありません。名古屋大学産学官連携推進本部あいちサイエンスフェスティバル事務局と蒲郡市生命の海科学館による共催イベントなのです(あいちサイエンスフェスティバルとは、愛知県全域で開催される日本最大級の科学祭です。ちなみに後藤はイチ科学者として参加)。つまり公的機関がSF映画のイベントを開催しちゃったわけです。



写真2 イベント時の様子

後藤と藤吉(左上)が映画にまつわる話をしています。イベントは屋外で行なわれました(左のコンクリート壁に映像が投影されています)。

今回は急速な気候変動を描いた映画「デイ・アフター・トゥモロー」を題材に、地球科学に関するトークイベントとなりました。ところでこのような映画イベントで一番困るのは、映画の上映場所と上映許可を得ることです。その点では同科学館は経験が豊富です。科学館にはシアターやミニイベント会場があり、「上映権」付きのDVDを用いた映画上映をイベント前に実施できました。



写真3 山中の司会進行のもと(左)、ビール片手に科学の話に聞き入る参加者たち。満員御礼(30名)でした。

この映画「デイ・アフター・トゥモロー」、科学的によく練られています。例えば劇中では超巨大台風(大陸を飲み込むサイズ!)が発生し、台風の目の上空からはマイナス100℃の超寒気が降りてきて、ニューヨーク全域が凍ります。台風って低気圧=上昇気流では? と思いきや、実際の台風でも中心付近では下降気流が発生しています。一方でツツコミどころもありました。ニューヨークへ息子を助けに行くお父さんたち(氷河の研究者)。雪に覆われた建物の上を強引に進んだ結果、仲間がガラス屋根を突き破って階下へ転落してしまいます。ああ! 地中レーダー(電波を使って地層や氷の厚さを測定する装置)をなぜ持ってこないのか?

会場は満員御礼、ビールの力もお借りして、イベントは盛況でした(写真2、3)。反省点もありましたが、参加者・主催者共に「こういうイベントも楽しいよね!」という感想とあいなりました。

同科学館では、今後も継続的にこのようなイベントを開催する予定です。「物理探査とSF映画」を題材としたサイエンス★ビアガーデンを開催できるかもしれませんね(ぜひやりましょう!!)

最後に、本イベント開催にあたりご協力ご尽力いただきました名古屋大学および蒲郡市の関係者の皆様に感謝の意を表します。